

学習 討論

9月から10月にかけて学習会や懇談会が開かれました。
いずれも地域にとって大切な課題ですので概略をお知らせします。
詳細については「おらちのえんがわ」にお問い合わせください。

しげのの未来を考える学習会

最初に子育てをめぐる状況について、市側から最近不登校が増えるなど厳しい状況にあり、子育て世帯を孤立させない取り組みが必要との報告がありました。一方支えあい部会が通学合宿の中で行ったアンケートでは子供たちは「やさしい人になりたい」「豊かな自然を大切にしていきたい」などしっかりとした意見を述べています。こうした状況を踏まえ、地域で何ができるか3つのグループに分かれて話し合いました。(9月29日)



地域づくり懇談会

地域づくり懇談会は地元の課題について市と地元が意見交換する場です。最初に区長から空き家対策と開発事業に対する許可条件について、里づくりの会からは児童館の後利用について質問しました。児童館は来年春、滋野小学校の隣接地に移転することが決まっており、後利用が課題になっています。住民の交流の場やポッチャの常設コートとしての利用、通学合宿の施設などの意見が出されました。今後市側と意見交換してまいります。(10月9日)



滋野地区健康状況を学ぶ学習会

最初長野県立大学の学生さんからメタボについての発表。その後身体医学研究所の岡田さんのお話がありました。それによると滋野地区においては肥満度は男女とも国や県より低く、男性は血糖値が高めの方が多く、血圧は男女とも5年間で上昇しているそうです。「特定検診は自動車に例えると車検のようなもの」、「検診を受けないということは車検切れの車に乗るようなもの」と述べ、検診の大切さを強調していました。(10月8日)



通学合宿反省会

9月16日から3泊4日で行われた通学合宿について役員やボランティアの皆さんに集まっていただき、話し合いを行いました。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。出席された皆さんから率直なご意見をいただきました。これからの活動に活かして行きたいと思います。ご意見の中で9月は農作業も忙しくなり、日も短くなるのでできれば6月頃がいいのではとのご意見がありました。検討してまいります。(10月13日)



おらほの 里づくり

片羽区



片羽区では伝統文化の継承に力を注いでいます。その功労者である須田英雄さん(写真)にお話をお聞きました。

伝統と文化を守り続けて四十五年
山車とお囃子、わら午と十日夜のわらでつぼう

■ 片羽には山車がある

10月と言えばどここの区でも神社のお祭りを行っています。その多くは幟(のぼり)を立てるだけですが、片羽区には山車があります。お祭りの時はお囃子衆が乗り込み、三味線・笛・太鼓・鐘でお囃子を演奏し、それを大勢の子供たちが引いて、区内を練り歩きます(写真左)。市内でこうした山車を運行しているところは他にはありません。片羽の誇りです。



山車と獅子舞と子どもたち



山車を復活した関係者の皆さん

■ 滋野小学校のお祝いで披露

100年前、滋野小学校が赤岩から現在地に移転した時、それぞれの区で出し物を出してお祝いしたことがあります。その時の片羽の出し物が巨大な獅子と山車でした(写真下)。山車の歴史は古く、江戸時代末期までさかのぼります。当時片羽には料亭があり芸者もいました。その後山車は倉庫に収納され、祭りで披露されることはありませんでした。

■ 山車とお囃子を復活

45年前の昭和54年(1979)、一区民からの提案で、山車を区・公民館行事として取り組むことが決まりました。山車の最後の運行は昭和8年でした。46年ぶりの復活でした。同時に「わら午」や「十日夜(とうかんや)」のわらでつぼう、「注連縄づくり」なども行われるようになりました。平成13年(2001)にはこれまでの山車の部材を活用し、人が乗って演奏できる本格的なものに新調しました。4年かけて費用を積み立て、補助金もいただいで完成。翌年の雷電祭りで披露され、特別賞を受賞しています。



片羽の出し物は巨大な獅子と山車でした



初午は地域の行事として定着しています

■ みんなが本気になった

伝統文化の復活を提案したのは須田さんでした。まだ30才前の若者でしたが、区の役員をはじめ皆さんが賛同してくれたそうです。「あのタイミングでなければできなかった」と須田さんはおっしゃいます。昔かかわった方が本気で取り組んでくれました。当時のことを知っている三味線のお師匠さんがまだ元気な状態で、何度も足を運んでお囃子を手取り足取り教えてくれたそうです。しかし後になって「ものにならない」と思っていた」と話していたそうです。いまお囃子衆は毎月第三土曜日に集まって練習しています。45年前、一人の若者が灯した火が、いまや片羽区の伝統行事として地域にしっかりと根を下したのです。

しげの里づくりの会

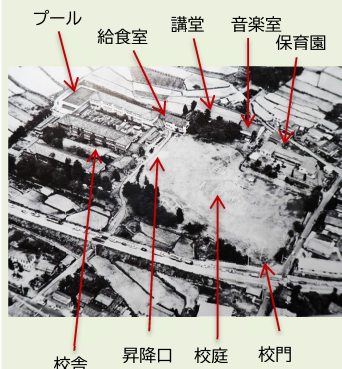
かわら版

第24号

しげの里づくりの会
広報委員会
住所:東御市滋野乙205-1
TEL:0268-71-7581

50年前

現在学校の北側は住宅地になっていますが、かつては八幡様の巨木がそびえ、夜になるとフクロウが鳴き、まるで「トトロ」の世界でした。



当時は団塊の世代が小学生だったこともあり児童数が多く、校舎は3棟ありました。プールは学校の西の道路際にあり、八幡様の湧水を使っていました。給食室からはお昼になるといい匂いが漂ってきました。石段の上に講堂と音楽室がならんで建っていました。

現在



140周年の時の航空写真

来年は滋野小学校創立150周年を迎えます。明治初期にはそれぞれの地域ごとに様々な学校がありました。村は明治19年に村内の学校を統合し、赤岩の信号の近くに滋野小学校を開校しました。その後、大正14年(1925)、八幡様の湧水が利用できる現在地に新校舎を建設しました。こうした経過から来年は創立150年、現在地への移転100年という記念すべき年になります。上の写真は現在の校舎、左の写真は50年前の校舎です。比べてみてください。50年前の写真では保育園だったところに現在児童館が建設中です(来年4月完成予定)。

現在記念事業実行委員会(会長 若林幹雄氏)が立ち上がっており、学校と協力して記念事業を計画しています。ぜひご協力ください。

滋野小学校創立150年・移転100年！

私達は一〇〇年先に何を残すのか

▼ 滋野小学校が赤岩から移転した背景には水問題がありました。増える児童数に対して使える井戸は一つであり、川の水まで使っていました。

▼ これに対し現在地は八幡様の湧き水が利用でき、稲作には好適地でした。滋野は扇状地であり、水には昔から苦労してきたところです。私たちの先輩たちはそんな大切な土地を学校用地として提供したのです。

▼ これを見れば、滋野の人々が小学校建設にかける熱い思いを感じ取ることができます。この2年前には滋野に駅を造るために寄付金に応じ、今回は小学校建設のために土地を提供したのです。

▼ 先人たちは100年先を考え、産業振興のために滋野駅を誘致し、人材育成のために滋野小学校の移転・新築に取り組んできました。100年後の私たちは先人たちの思いをきちんと受け止め、今度は私たち自身が、100年先の子どものために何ができるか一緒に考えてみませんか



来年もやります
どんどこ巨大紙相撲大会

- 千秋楽(大会) 2月22日(土)
午後1時半から4時半
東御文化会館
- カ士づくりワークショップ
1月25日(土)・1月26日(日)

*クラスで、地域で、友達で、ご家族で参加しませんか。詳細はお問い合わせください。

おうちのえんがわ

- 営業日 月・火・木・土
- 営業時間 10時~17時
- 電話 0268-71-7581

- * どなたもご利用できます。
- * どうぞお気軽においでください。

編集後記

「かわら版」で将棋盤の提供をお願いしたところ、早速今使っていないからということで2面の将棋盤をご提供いただきました。ありがとうございます。準備が整ったところで将棋クラブを立ち上げたいと思います。参加ご希望の方はお電話ください。近いうちにスタートさせたいと思います。

右は里づくりの会のQRコードです。スマホでアクセスしてください。



11月のスケジュール
変更がありますのでご注意ください

9月末、急に国会が解散することになり、10月27日が衆議院選挙投票日となりました。もともとこの日は「滋野ふれあいのつどい」でしたので驚きました。このため当初の日程を下記のように変更いたします。

- 「滋野ふれあいのつどい」を11月17日(日)に変更します。詳細は下記をご覧ください。
- 「滋野駅清掃活動」は当初11月17日の予定でしたが来年春に延期します。当初9月の予定でしたので再々度の延期になります。誠に申し訳ありません。
- 「史跡巡り」は当初予定通り、11月10日(日)に実施します。ご参加ください。

ふれあい

滋野ふれあいのつどい

と き 11月17日(日) 9時より
ところ 滋野コミュニティセンター ほか

- ▼ 今年のふれあいのつどいは滋野コミュニティセンターを中心に、片羽公民館、おうちのえんがわ、滋野小学校資料室の4ヶ所を結んで行います。
- ▼ コミュニティセンターではステージ発表・作品展示、片羽公民館ではバルーンづくり、「おうちのえんがわ」では児童絵画展示、そして滋野小学校の資料室が初めて公開されます。4カ所をめぐるスタンプラリーも予定されています。
- ▼ コミュニティセンターの庭では商工会の皆さんにより「やきそば」と「わたあめ」がふるまわれます。

